

平成26年10月28日から30日にかけて、東京海洋大学にて一般社団法人測位航法学会主催の「GPS/GNSSシンポジウム2014」が開催されました。同シンポジウムは、GPS/GNSS関連における国内最大級のイベントで、国内外から多くの研究者が集まり、講演会、研究発表などが行われます。当社は昨年引き続き展示会にも出展しました。

今回トピックとして挙げられるのは、講演会に「自動走行・操縦技術」のセッションが新たに設けられ、ITS業界からの発表・参加が行われたことで、今後、高精度衛星測位技術の研究と安心・安全な自動走行の研究を、準天頂衛星の実用化及び東京オリンピック開催を見据えてさらに加速させていきたいという狙いを感じました。

展示会において当社は、昨年度実施した「準天頂衛星を利用した衛星測位による車線認識走行実験」の成果報告と「準天頂衛星を利用した地籍調査等の提案」をテーマにパネルと動画の展示を行い、ITS業界含め多くの方々にお立ち寄りいただき、当社の取り組みへの高い関心をお寄せいただきました。

3日間を通じ例年以上に多くの来場者があり、準天頂衛星の実用化に向けての盛り上がりを感じるとともに、今後も研究開発、利用実証等を通じて貢献していきたいと改めて感じる大会となりました。

【シンポジウムの様子（講演会、展示会）】



【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対し、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。掲載内容により被った損害については、当社は一切の責任を負いかねます。